

ちちぶ

2016.11.10

第46号

市議会だより



高篠小学校ふれあい学校



町なまイメージキャラクター
ポテくん

9月定例会

- 28年度補正予算(第2回)の可決
(除雪機借上料、市役所本庁舎等建設工事変更契約関連予算等)
- 工場誘致条例の一部改正

高篠小学校

28年度のふれあい学校は、
1年生から3年生までの
29名が活動しています。
明るく元気いっぱい、
遊びが大好きな子どもたちです。
楽しい発見が毎日あり、
いつでもキラキラ輝いています。

9月定例会の議案質疑等の内容

9月定例会（9月6日から23日まで開催）では、市長提出議案27件のほか、議員提出議案4件を審議しました。質疑の主な内容は下記のとおりです。（工事請負変更契約の締結に関連する議案についての質疑、討論については4ページに掲載しています。）

一般会計決算

歳入

問 予算現額、調定額、収入済額が、わずかな減額にとどまる中、不能欠損額が17・8%増加し、収入未済額は10・3%減少している。その原因は。

答 不納欠損は、1567件、約8187万円、前年度比件数36件増、金額は約1240万円の増額となった。前年度比で増額となった大きな理由は、大口の法人滞納者を不能欠損処分としたためである。

問 都市計画税の収入未済額が調定額の10%を超えている原因は。

答 都市計画税の収入未済額は、約4494万円となっている。このうち滞納繰越分が約3927万で、全体の約87%を占めている。滞納繰越分の収納状況は納付困難な案件が多いため、現年課税分の収納率98・1%に対し、8・5%にとどまっている。これにより、現年滞納繰越分と合わせた収入未済額が高額となり、調定額の10%を超えたものとなった。今後も滞納整理技術の向上を図り、収入未済額の圧縮に努めていく。

歳出

問 雑入の収入未済額が調定額の10%を超えている原因は。

答 雑入の収入未済額は主に生活保護費返還金で、雑入の収入未済総額約3287万円のうち94・3%を占めている。

問 解散した秩父ケーブルテレビの株券の取り扱い。

答 秩父ケーブルテレビは、27年5月31日で解散しており、債務が確定して同社の清算が適正に行われるよう注視している。しかし、未だ確定したとの連絡がない状態であり、確定するまで権利放棄すべきでないと考え、決算書に有価証券として記載している。

問 工場誘致補助金約2957万円の内容は。

答 工場誘致奨励金は、企業などが市内に工場棟を設置し、一定の面積要件を満たした場合に、優遇措置として交付するものである。27年度は固定資産税相当額を交付する奨励金Aに該当する企業が6社で、約2193万円。水道加入金相当額を交付する奨励金Bに該当する企業が1社で51万円。投下固定資本額を5年に分割して奨励する奨励金Cに該当するものが、3社で約713万円となっている。

問 道路維持課の分室で担当する規模の道路維持補修について、速やかな対応が求められる状況が多々起きている。スムーズに対応できる体制にあるのか。

答 27年度の道路緊急補修工事については全体で105件。その内業者に発注したものは20件、残りの道路維持課の分室で行ったものが85件。分室の業務内容は、道路幅員の狭い道路の舗装の新設工事、軽い微細な舗装修繕のほか、定期的な草刈り、町会要望による草刈り、塩化カルシウム（融雪剤）対応、除雪といった地域に密着した道路整備を行っている。自然災害の台風・大雨・大雪などの対応作業を現在5人の体制で行っている。



（吉田総合支所3階）

公設地方卸売市場特別会計決算

問 社会福祉協議会が文化体育センター内で運営していたレストラン・グリーンは障がい者の雇用の場にもなっていたが、廃止した経緯は。

答 レストラン・グリーンは、平成元年から社会福祉協議会が収益事業として運営を行ってきた。収益事業とは社会福祉法人が行う社会福祉事業または公益事業に充てるため収益を得ることを目的とした事業である。

22年に利用者の減少から経営収支が赤字となり、24年度以降は市から社会福祉協議会へ毎年社会福祉事業補助金として約110万円を補助してきたが、経営の改善が見られなかった。社会福祉協議会から、今後、収益事業としての要件を満たす見込みが立たないことから28年3月31日をもって廃業したい旨の報告をいただいた。

問 実質収支額が多額になっている理由は。

答 施設において得られた収入を施設の修繕費として積み立て、予備費に計上しているため。

駐車場事業特別会計決算

問 実質収支額が多額になっているが今後の使途は。

答 駐車場整備の他、28年度は、三峰駐車場トイレを修繕している。今後も駐車場利用者の利便向上に活用する。

工場誘致条例の一部改正

問 新設の企業誘致の大型特例奨励金を2億円から5億円へということだが金額の根拠と財源は。

答 100億円の資本投下で5%5億円の奨励金の対象となる。100億円だと500人程度の従業員数が想定できる。完成後、1年に最大1億円、5年間にわたり支給するが、法人市民税や従業員の方々の市民税、固定資産税等が市に継続して入ると3年から4年で5億円は回収できると想定している。企業誘致は競争でもあり、ある程度金額を打ち出す必要がある。財源は一般財源である。

問 近隣自治体の状況は。

答 県内では、さいたま市が10%で10億円、入間市が5%で1億2千万円である。5億円という額は他市と比較してもかなり大きい。

文化財保護基金条例

問 第6条に「文化財の保存および活用」とあるが、有形文化財、無形文化財のどちらにも活用できるか。

答 どちらにも活用できる。文化財の保護に多額の費用が必要な時にその都度活用を検討する。

一般会計補正予算(第2回)

問 学校施設環境改善交付金の不交付の根拠は。

答 小中学校の空調設備補助金は国に申請していたが、度重なる災害で国の財政が厳しいということと今年度不採択となった。市としては、引き続き要望していく考え。

問 小学校のエアコン整備について、国からの補助金が減額され、市の基金を活用してエアコン整備するようだが、4か年での整備計画に変更はないか。

答 213教室について計画どおり進める。国の補助金を確保するため、国への働きかけをしていく。

問 除雪機80台の借り上げについて、80町会に一台ずつ貸し出すようだが、希望のない



9月定例会本会議の様子

町会分は広い面積を有する町会に貸し出しできないか。

答 確かに現時点で貸与を希望しない町会もある。一方、町会によっては、複数台を希望されているところもある。吉田総合支所に除雪機の配備がないため、そちらに配備することも含め、今後、検討を行う。

問 除雪機の燃料費等の負担はどのようになるか。

答 燃料代、定期点検代、修理代、損害保険代等の機器使用にかかる経費は町会に負担いただくことが条件となるが、地域ボランティア除雪隊報奨制度の対象とする。積雪量が概ね20cm以上で報奨金支給制度を実施する場合には、重機と同様の取り扱いとし一日使用につき1万円支給、除雪機の運搬車は雪の運搬車両と同様の取り扱いとし一日使用につき5千円支給する。

問 集会所等建設事業補助金57万円の補助の対象となる集会所はどこか。

答 各町会に意向調査を実施

したところ、大滝町会から中津川区集会所トイレ改修工事として37万円、中時田町会から公会堂雨戸改修工事として12万円、中宮地町会から公会堂階段改修工事として12万円以上3件計61万円の補助要望があった。当初予算残金の4万円を差し引いた57万円を予算計上した。

問 文化体育センターのトレーニングルーム改修工事の詳細は。

答 経年劣化しているトレーニング室のタイルカーペットの張り替えとレストラン・グリーンの天井や壁、床のビニールクロスやタイルカーペットなどの撤去工事および電源工事、照明交換等の改修工事を行う。

問 保育対策総合支援事業補助金の詳細は。

答 保育所におけるICT化促進事業費として300万円および事故防止等のビデオカメラ設置として60万円を計上した。この事業は保育事業支援システムの導入に必要な経



問 伝統産業振興事業の絹市開催の詳細は。

答 秩父夜祭はかつて神社周辺で大きな絹の市がたつて年間最大の取引が行われていた絹産業発展とともに秩父夜祭も大きくなった。また、秩父銘仙が近年国の伝統工芸品に指定されたこともあり、非常に注目されている。今年の秩父夜祭の12月2日・3日に神社周辺で絹市を開催したいため今回の費用約35万円を計上した。

費として1園あたり100万円で3園の300万円となる。内容については国庫補助金が4分の3、市が4分の1で、民間保育園3園を予定している。ビデオカメラの設置については上限額10万円。6園から希望があり民間の保育所に設置する予定。

工事請負変更契約の締結及び関連する補正予算に対する質疑・討論の内容

工事名

秩父市役所本庁舎及び秩父宮記念市民会館建設工事

請負金額

変更前 51億3864万円

変更後 52億718万6520円

補正予算

工事請負費 4934万9千円増

備品購入費 2000万円減

問 工期の延長分も契約金額に含まれているのか。

答 含まれている。

問 総額として65億円は超えないと以前に答弁があったが、今回の増額を含め、総額は。

答 約65億3千万円の予算となる。

問 請負金額の増額分約6855万円に対し、補正予算の増額分は約4935万円。不足する約1920万円はどのように補うのか。

答 予算額に対する実際の契約の差金などで対応する。

問 契約の差金について、減額補正を組まなかったのはなぜか。

答 スライド条項等に関し、金額が確定するまでは、予算を超えるかわからない状況であったため。

問 備品購入費2千万円減の見直

しの内容は。

答 庁舎内の椅子・机約810万円減、ホール用の備品について、舞台照明約520万円減、舞台音響約670万円減。現在あるものを活用し、減額を図る。

討論

反対

地方自治の本旨である「住民自治」の観点からも執行権をもつ市と主権者である市民との信頼関係こそ重要であり、信頼関係を構築するための市民的合意をいかに形成していくかが重要と考える。市の将来に関わる一大まちづくりであればこそ市の憲法「まちづくり基本条例」に則り、市民参画と市と市民との協働によりまちづくりを進めることで大きな力が生まれる。工事費を巡る市民との約束を再び反故にする前に一度立ち止まり現状を詳しく市民に説明し、判断を仰ぐ必要がある。

工事費は、今議会で65億円を超えることが明らかになった。65億円は議会の場での市民に対する最終的な約束となっており、約束を覆す変更契約の締結を認めることはできない。65億円という「市民とのしつかりとした約束」を守るために全力が尽くされたとは言えない。

請負金額の増額分約6855万円に対する補正予算の増額分約4935万円の差について、説明された金額とその理由についても十分な説明がされていない。

「スライド条項」については契約の是非の議論から一貫して懸念を表明してきた。

当初から計画の見直しを求める市民の声が大きく上げられる中で進められる工事であるだけに、理解を得るために一層の努力が求められるが、その点についても大いに問題ありと言わざるを得ないので反対する。

賛成

市民の声が、まちづくり基本条例に基づき、反映されていないとの意見があったが、過去に市議会ですでにいただいた資料や市のホームページで再確認すると、23年からほとんど毎月の市報に掲載するなど多くの機会を設け、時間をかけて、市民に情報を伝える努力をしている。このことから、市はまちづくりに関する情報を市民に公開する責務を果たしていると考ええる。今回の契約変更の内訳はスライド条項に基づく増額、工事変更による増額及び備品内容の見直しによる備品購入費の減額であるとの説明を受けた。

まず、スライド条項に基づく増



建設中の市役所本庁舎及び市民会館

額については、26年12月の工事請負契約審査特別委員会においても「物価スライドは秩父市契約約款に基づき適切に遵守したい。」との説明があった。今回のスライド条項の内容は国の労働単価の見直しに基づくインフレスライドであり、現在、全国的に多くの大型公共工事において同様の事例が適用されている。

次に、工事変更による増額は、LED照明器具などの追加やホールの空調設備操作の多元化などのためと説明があった。

また、備品購入費の2千万円の減額は、旧本庁舎・市民会館の備品を基本的に再利用すると説明があった。

工期の延長も含め、建物の品質面から適切な時期への変更することとは必要なことであると考え、賛成する。

意見書

9月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書4件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

無年金者対策の推進を求める意見書

1 無年金者対策は喫緊の課題であることから、年金の受給資格期間を25年から10年に短縮する措置について、2017年度中に確実に実施できるように必要な体制整備を行うこと。

返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

1 学ぶ意欲のある若者が経済的理由で進学を断念することがないよう、奨学金や授業料減免などの支援を拡充するとともに、貧困の連鎖を断ち切るため、2017年度を目標に給付型奨学金を創設すること。

2 希望するすべての学生等への

無利子奨学金の貸与をめざし、「有利子から無利子へ」の流れを加速するとともに、無利子奨学金の残存適格者を直ちに解消すること。

3 低所得世帯については、学力基準を撤廃し無利子奨学金を受けられるようにすること。

4 返還月額が所得に連動する新所得連動返還型奨学金制度については、制度設計を着実に進め、既卒者への適用も推進すること。併せて、現下の低金利環境を踏まえ、有利子奨学金の金利を引き下げること。

障がい者（児）の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

1 障がい者（児）が「暮らしの場」を選択できるよう、グループホームや入所施設・通所施設などの社会資源を拡充し、福祉人材を確保すること。

2 入所機能を備えた地域生活支援拠点整備を積極的に進めること。

3 前2項を実現するために、障がい者関係予算の拡充を図り、施設の重要な担い手になっている地方公共団体を財政的に支援すること。

後期高齢者医療制度の改善を求める意見書

1 後期高齢者医療保険の保険料における「特例軽減」を維持し、保険料の大幅な引き上げとならないようにすること。

2 健康で文化的な生活を保障するため、後期高齢者医療負担の現行制度を堅持すること。

インターネットで議会を傍聴しませんか

本会議の初日（議案説明等）、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日（採決等）の映像を、インターネットで録画中継していただきますので、ぜひご覧ください。

「秩父市ホームページ」から「秩父市議会」を選択し「インターネット録画中継」を選択するか、
 このように検索すれば、
 下記のようにインターネット中継のページが表示されます。



決算審査特別委員会の設置

本委員会は、9月定例会に提出された平成27年度の各会計決算の議案を審査するための特別委員会です。

秩父市議会では、2年に一度、決算審査特別委員会を設置し、閉会中に議案審査を行っています。

〈所属議員〉

委員長	笠原 宏平
副委員長	斎藤 捷栄
委員	浅海 忠
	竹内 勝利
	黒澤 秀之
	清野 和彦
	赤岩 秀文
	福井 貴代



9月30日の現地調査の様子
 （写真は旧大滝中学校）

常任委員会の報告

総務委員会

9月定例会で付託された議案3件について報告する。

◆議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正

◆一般会計補正予算(第2回)
除雪機借上料371万円の積算根拠は。

答 除雪機本体および軽トラック等に乗せるためのブリッジ、給油缶などの付属品を含め、1台約50万円と考え、80台で4千万円。5年間の金利負担分を含めた約4452万円のうち、今年度使用する11月から3月までの5か月分として371万円を予算計上した。

問 リース期間終了後の除雪機的所有権は。

答 5年間のリース期間終了後に秩父市へ所有権が移る。

問 金利負担分を考慮すると単年度に4千万円で購入すべきではないか。

答 当初は購入で検討したが、秩父市が積雪寒冷地域ではなく、購入でもリース契約でも国・県に該当する補助がないことから、協議の結果、リース契約であれば、国の特別交付税制度に除排雪経費として算入できるため、リース契約とした。

○以上2件は原案のとおり可決

◆工事請負変更契約の締結について(本庁舎等建設工事)

問 今回の本庁舎工事請負金額の変更点は。

答 増額の契約変更は、秩父市契約約款にあるスライド条項によるもので、国の労務単価に基づくものと、LED照明に変更・音響システム・ホール空調設備の3項目の工事変更が主なものである。

意見 26年12月議会で65億円以上は増えないとの約束であったが、今回の議会ですらなくとも2千数百万円の増額となることは明らかとなった。また、工期の延長については、受注者の責めに帰すべき部分を検証し、ペナルティ等を検討することにより、金額を抑えていく余地はまだあると考え、今回の議案については拙速であることから、反対する。

意見 スライド条項によりどのようにに労務単価が上昇したのか不明瞭であり、業者の言いなりになっていると感じ、市民に対しての説明責任が果たせていないので賛成できない。

○挙手多数により可決



まちづくり委員会

9月定例会で付託された議案8件及び請願1件について報告する。

◆市道の路線変更

・大滝字大達原地内の市道終点の変更

◆工場誘致条例の一部改正

問 旧秩父セメント(株)の第一工場跡地のほかに、条例適用となる企業誘致候補地は存在するか。また大型企業誘致に関する取組みは。

答 条例適用となる規模の候補地は、当該跡地のみである。取組みに関しては、太平洋セメント(株)本社を訪問し協議を行っている。さらに埼玉県の企業立地課とも連携し、情報収集に努めている。

○以上2件は原案のとおり可決

◆一般会計補正予算(第2回)

問 市役所本庁舎等建設事業に關し、工事請負額が一度確定し、予算額との差額が明確になった時点で減額補正を行うべきではないか。

答 今回の工事は、本体工事・舞台工事・外構工事に分かれ、すべての工事を一括して行えるものではなかった。そのような中で軽微な変更があることを想定し減額補正は行わなかった。

意見 予算と契約で所管部所が分かれているため、合致に努めるよう申し述べておく。

意見 本補正予算は、「議案第85号工事請負変更契約の締結について」に基づくものであるため、本案についても反対する。

○挙手多数により可決

◆下水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

◆戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)

◆公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)

◆駐車場事業特別会計補正予算(第1回)

○以上5件は原案のとおり可決

◆有害鳥獣捕獲後の処理施設の建設に関する請願(西秩父猟友会・上吉田支部)

意見 趣旨はよくわかるが、他の猟友会とも協議を行い、広く賛同者を募っていただきたい。

意見 有害鳥獣対策は行政・猟友会の課題であるため、継続審査とすべきである。

○継続審査に対する挙手採決の結果、総員賛成により、継続審査に決定



常任委員会の報告

文教福祉委員会

9月定例会で付託された議案7件について報告する。

◆子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正

◆文化財保護基金条例

問 第3条第2項「最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる」とは、どのような場合か。

答 基金は普通預金口座を開設、その後、定期預金や有価証券などで運用していくが、文化財保護保存の趣旨から債権などで運用するには長すぎることから、現実的には定期預金での運用となる。

問 喫緊で基金の活用はあるか。

答 予定はない。

◆一般会計補正予算(第2回)

問 ちちぶ医療協議会負担金2千万円の減額理由は。

答 産科医師・助産師等確保支援事業の財源として25年度より県からいただいていた2千万円は、27年度で終了したが、今年度も県から医療協議会に補助金2千万円が交付されることになったためである。

問 施設開設準備経費等支援事業費補助金の概要は。

答 地域密着型の定期巡回・随時対応型訪問介護看護というサービスを「医療生協さいたま生活協同

組合」が今年度中に始められればということと受けられる準備のための補助事業である。これはホームヘルパーと訪問介護を合わせた事業で、定期巡回に加え、24時間、利用者の通報により、オペレーターが電話やICT機器等による応対・訪問事業を行う。秩父市内では初めての事業となる。

問 今回の補正予算において、ICT活用教育推進事業で想定しているタブレット機器の導入台数は。

答 すべての小中学校にできるだけ多くのタブレット機器を配備したいと考えているが、まず、大型テレビなどの周辺機器を優先し、タブレット機器は1校2台から3台になる。なお、この事業とは別に小中学校のパソコンの入れ替えにより、タブレット機器を導入しており、周辺機器を優先することで、今後タブレット機器が活用できると考える。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

◆介護保険特別会計補正予算(第1回)

◆市立病院事業会計補正予算(第1回)

○以上7件は原案のとおり可決

9月定例会で審議した議案・請願の結果

議案等の件名		会派ごとの賛否						議決結果
		清流 12人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 清野 金崎		
28年度補正予算	一般会計補正予算(第2回)	○	×	○	○	×	×	原案可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
	介護保険特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
	下水道事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
	公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
	駐車場事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
	市立病院事業会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	原案可決
条例	議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	原案可決
	子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	原案可決
	工場誘致条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	原案可決
	文化財保護基金条例	○	○	○	○	○	○	原案可決
市道	市道の路線変更	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約	工事請負変更契約の締結	○	×	○	○	×	×	原案可決

清流：清流クラブ 共産：日本共産党秩父市議会議員団
公明：公明党 絆：市民の会・絆 無会派：会派に属さない議員
※議長は人数に含まれていない。

議案等の件名		会派ごとの賛否						議決結果
		清流 12人	共産 3人	公明 2人	絆 2人	無会派 清野 金崎		
27年度決算	一般会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	国民健康保険特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	後期高齢者医療特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	介護保険特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	下水道事業特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	農業集落排水事業特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	戸別合併処理浄化槽事業特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	公設地方卸売市場特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	駐車場事業特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	水道事業決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
議員提出議案	市立病院事業決算の認定	-	-	-	-	-	-	継続審査
	無年金者対策の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	原案可決
	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	原案可決
	障がい者(児)の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願	後期高齢者医療制度の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	原案可決
	有害鳥獣捕獲後の処理施設の建設に関する請願【この請願を「継続審査」とすることについて採決しました。】	○	○	○	○	○	○	継続審査

○：賛成 ×：反対

広報広聴委員会報告

5月20日に行った議会報告会において、市民の皆さまからいただいた行政に対する問合せ、意見、要望についての回答を一部掲載します。

問 ちちぶ定住自立圏構想の成果は。

答 秩父地域全体の課題を協議し、解決を図る仕組みとして有効な取り組みである。主な事業の成果としては、二次救急医療体制・産科医療の維持や、水道広域化による老朽管の敷設替えや耐震補強などが挙げられる。また、おもてなし観光公社による民泊での修学(教育)旅行の誘致事業などが行われている。

(地域政策課)

問 秩父地域おもてなし観光公社の成果は。

答 秩父地域を統一したSNSやマップでのPRをはじめ、地域全体で連携し、民泊を利用した修学(教育)旅行の誘致や広域レンタサイクル等の事業も実施している。秩父地域への来訪者数は増加傾向にあり、成果が現れてきている。(おもてなし観光公社)

問 雇用の促進のためにどのような施策を行っているか。

答 企業と求職者とのマッチングを図るため、ハローワーク秩父や秩父地域雇用対策協議会と連携し、合同就職面接会などを実施している。(商工課)

問 子どもたちの教育のため、秩父ミューズパークに天文台を設置して欲しいという請願書の提出を考えたが、紹介議員がいなかったため請願書が提出できなかった。紹介議員なしで請願ができないのはなぜか。

答 請願は、地方自治法第124条により紹介議員が必要であることが定められている。紹介議員を必要としない陳情という方法をもつて、特定の事項について実情を訴え、適切な処置を求めることもできる。(議会事務局)

問 郷土芸能の練習場所がなく、個人宅を借りて練習している。公共施設などで練習できる場所はないか。

答 公民館など公共施設の活用を希望する場合は、文化財保護課へ相談してほしい。(文化財保護課)

問 道の駅「龍勢会館」の多目的トイレのドアが重い。使いやすいトイレにすれば車椅子の方も秩父観光を楽しめるのではないか。

答 管理者である埼玉県秩父県土整備事務所に対応を依頼したが、本年度の工事の対象にはなっていない。(吉田総合支所地域振興課)

問 公衆トイレの整備状況がよいので、観光客向けのトイレマップを作成したらどうか。

答 観光客向けのトイレマップの必要性等も含め、検討する。(生活衛生課)

問 番場・東町付近の道路は一方通行が多く不便である。規制を解除することはできるか。

答 この付近の道路は幅員や交通量を踏まえ、危険回避の観点から一方通行に規制されている。規制を変更するには、地域住民の意見として町会から要望をあげることが必要となる。秩父警察署、埼玉県公安委員会の審査を経て変更となる。(市民生活課)



決算に関係する用語解説

「収入未済額」

しゅうにゅうみさいがく

歳入を徴収するときに「誰」が「いくら」で「どのような性格」のお金を納めなければならぬのかを確認してから徴収額を決定します。徴収額を決定する行為のことを「調定」といいます。

収入未済額とは、調定した収入のうち、出納整理期間内に納入されなかった金額のことです。翌年度も引き続き徴収に努めることになります。

※ 出納整理期間(年度が終わっても、未収入、未払いとなっているものについて、収入、支出を行うために設けられている期間で、会計年度終了後の4月1日から5月31日までのこと。)

「不納欠損」 ふのうけつそん

調定を行ったものの、何らかの理由で徴収ができず、今後も徴収の見込みが立たない状況が起きた場合は、徴収を諦めることとなります。このことを「不納欠損処分」といいます。

債務者が死亡し相続人もいない場合や、時効が成立したときなどにこの処分が行われます。

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

① 江田 治雄（市民の会・絆） 1 秩父市観光大使 2 教育施設（グラウンド）の貸し出し 3 選挙立会人選任とポスター掲示場所	⑥ 竹内 勝利（清流クラブ） 1 市役所、市民会館の今後 2 火災の通知内容 3 有害鳥獣捕獲後の処理施設 4 家族で利用できる更衣室	⑪ 荒船 功（清流クラブ） 1 太陽光発電施設設置 2 し尿処理事業の広域化 3 生活保護世帯支援事業 4 姉妹都市交流事業
② 福井 貴代（公明党） 1 生涯活躍のまち（秩父版CCRC） 2 訪問診療の普及策 3 投票率向上対策	⑦ 笠原 宏平（清流クラブ） 1 災害時の障がい者支援 2 介護保険制度 3 ファシリティマネジメントの現状	⑫ 赤岩 秀文（清流クラブ） 1 市と神社仏閣との関わり 2 政教分離に対する市の立ち位置 3 観光資源としての神社仏閣の関わり方 4 伝統文化継承としての祭のあり方
③ 浅海 忠（市民の会・絆） 1 地籍調査と未登記道路の現状と今後は 2 自転車の街づくりの今後と安全対策は 3 賑わいの街づくり、秩父神社と番場通り 4 地域資源を活用した高校大学企業連携は	⑧ 大久保 進（公明党） 1 合宿補助金 2 被災者支援システム 3 ゆるキャラグランプリ	⑬ 清野 和彦 1 移住・定住促進 2 西武秩父駅・御花畑駅周辺の環境整備 3 秩父夜祭宵宮のにぎわいづくり 4 武甲山
④ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団） 1 災害時の喫緊課題であるトイレ問題 2 障がい者差別解消法の合理的配慮 3 CCRCでの保育士・介護従事者育成支援 4 田村地域土砂たい積問題	⑨ 木村 隆彦（清流クラブ） 1 自治会が設置している街路灯 2 商店街の街路灯 3 発達障がい児の支援 4 CCRC（生涯活躍のまちづくり）構想	⑭ 黒澤 秀之（清流クラブ） 1 森林の利活用、林業振興 2 「共助」による地域防災力の強化 3 民泊事業における登録民家増加策
⑤ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団） 1 市長の政治姿勢 2 地籍調査における今後の方向性 3 地域活性化 4 障がい児（者）にやさしいまちづくり	⑩ 金崎 昌之 1 合併検証なくしてまちづくりなし 2 「秩父市の教育」その課題と対策 3 ユニバーサルデザインのまちへ	

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

秩父市観光大使について



市民の会・絆 江田 治雄
えだ はるお

●投票立会人の選任方法と
掲示板

問 市では、21年から、林家たい平さん、冠二郎さん、アルフィーの櫻井賢さん、俳優の藤原竜也さんの4名を観光大使として委嘱している。秩父市のPRをしていたために、市では具体的にどの様に接触しお願いをしているのか。

答 毎月、市報ちちぶを郵送している。さらにポテくまくんデザインの名刺を作成し、お願いしたところである。市民会館完成後は、各氏に依頼して独演会、コンサート、トークショー等を計画したい。

●教育施設（グラウンド、
体育館）を開放した地域
振興について

問 夏休みの期間限定で、小・中学校のグラウンドや体育館が空いている時に、民宿等に貸し出しできないか。

答 教育施設のグラウンドや体育館は法の規制があり、管理上の問題や、営利目的では貸し出しができない現状である。今後秩父地域全体のテーマと捉え、施設の有効利用の観点で前向きに検討する。



選挙時のポスター掲示板

問 投票立会人は毎回同じ方々が採用されているが、どの様に選んでいるのか。またポスター掲示板の位置変更はできないか。

答 立会人の選任は、投票区毎に選任して選挙管理委員会が委嘱している。公平を期するために、今後は公募も検討する。ポスター掲示板の設置場所は、地域の状況を見て有効的な場所に見直すことも可能で、今後検討したい。

一般質問

生涯活躍のまち構想 (秩父版CCRC)



公明党 福井 貴代
ふくい たかよ

問 この事業の正式名称・目的は。
答 本題は「秩父市生涯活躍のまちづくり構想」副題を「秩父版CCRC構想」とし、新しい人の流れを作る人口増加策の手段の一つ。事業効果として、人口増加・消費拡大・税収増・雇用創出・健康増進・社会保障費の削減など、多様な世代の活発な移住交流による地域活性化を期待し、消滅可能性都市からの脱却を図る。この構想を、本格的な「総合的移住政策の一つ」として積極的に推進していく。

問 事業推進のために専門窓口を早期に設置し、移住者支援メニューの創設が必要では。
答 移住担当部所を来年度から設置したい。

●訪問診療の普及策

問 在宅医療を望んだとき、どのようなケアが受けられるか。在宅死の割合や、訪問診療医は何人か。
答 27年2月より「ちちぶ版地域包括ケアシステム」の構築を推進。秩父圏域内で保健・医療・介護・福祉の一体的なサービス提供体制を整えている。在宅医療を望む方には入院中に病院のソーシャル

ワーカーからの発信でケアマネージャーを中心に在宅医療・介護の連携で患者・家族を支える体制が構築されている。在宅医療を支えるため「在宅療養支援ベッドの確保事業」も開始。26年の秩父市の「自宅」での死亡は77名で9・14%。訪問診療を可能としている医師は現在、20名となっている。

在宅医療・療養に関しての相談窓口として「秩父在宅医療・介護連携相談室」を、秩父郡市医師会の委託により市立病院内に設置。



秩父版CCRC構想(素案)とちちぶ在宅医療介護連携相談室

◎投票率向上対策

地籍調査と未登記道路の現状と今後は



市民の会・絆 浅海 忠
あさうみ ただし

問 地籍調査の現状と今後の取り組みは。また、平地での実施と、財政措置の状況は。

答 大滝地区は、旧大滝村時代の14年から実施計画224・24kmで事業を開始した。27年度末までに6地区、面積6・26kmを完了し、進捗率は2・79%となっている。財政措置については国が50%、県と市が25%ずつ負担する。さらに、市が負担する25%の経費の80%は特別交付税の対象となることから、実質5%の負担で実施することが可能となる。しかし、理論上は参入されても、各年度に交付される特別交付税の総額は国の交付税予算の減額や大きな災害が発生した場合が大きく削減される可能性がある。慎重に判断したい。

地籍調査を他の地区まで拡大することは、予算を伴う長期の新規事業は現状の予算枠である土木費の中で何か他の工事・修繕等を縮小して工面しなくてはならない。地籍調査の重要性は承知しているが大滝地区以外では今のところ実施する予定はない。

問 未登記道路の現状と今後の取り組みは。

答 市道内民地で分筆が済んでいるものは、概ね千筆であり、道路管理システムで管理している。未分筆のものについては把握できていない状況であり、境界確認や道路相談などをきっかけに地権者と交渉を進め年間数十件の寄付による整理を行っている。



秩父神社の参拝道、番場通り

◎自転車の街づくりにおける「緑風と走ろう癒しの里ちちぶ」の取り組みと成果は
◎西武秩父駅から御花畑駅・秩父神社と番場通りの賑わいの街づくり

一般質問

災害時、喫緊課題の
トイレ問題

日本共産党秩父市議会議員団

出浦 章恵
いづみ あきえ

問 災害時避難所トイレの臭い・感染・衛生対策の計画は。

答 災害時のトイレの課題は、多くの健康被害と衛生環境の悪化をもたらすことから、助け合いながら劣悪な環境にしないことが重要。学校等の避難所に段ボールの簡易トイレを約340個、また凝固剤を入れるタイプの臭い対策の処理袋を約2100セット備蓄している。その他、リース業者等に汲み取り式の仮設トイレを各避難所へ可能な限り早く配備するよう依頼する。トイレ使用後には、ウエットティッシュ・消臭スプレーを使うことにより衛生対策を行う。

一方、避難されない方で自宅のトイレが使えない場合の対策は、ビニール袋を利用する方法、また汲み取り式の公衆トイレや消防団詰所などのトイレを利用してもらう方法を考えている。

今後はトイレ用品の備蓄も含め、災害時のトイレの使い方等の啓発を行い、その後の処理方法等はし尿処理施設や秩父広域市町村圏組合と具体的な協議をしていく。

問 女性・障がい者への配慮は。

答 足腰の弱い高齢者や車いす使

用の身体障がい者、女性や子ども等に使いやすいよう配慮する。プライバシー対策として、簡易テントをトイレや着替え、授乳等に利用できる。また、車いすでも利用できるテントもあり、医師等による診察や相談事業等を行うこともできる。

問 避難所運営に女性の意見を取り入れる考えは。

答 男女共同参画の視点から様々な意見が反映されるよう、年齢や性別等にも配慮していく。



災害時の簡易トイレ

地域の願いを反映する
市政に

日本共産党秩父市議会議員団

山田 進
やまなかすすむ

●地籍調査

問 以前の答弁では考えていないとしているが、国土交通省も推奨している事業を放棄してしまうのか。むしろ市の総合振興計画に位置付け実施する事業として進められるべきと考える。自己財源5%で95%の補助で実施できる有利な制度である。地域経済の活性化や新しい雇用を生む事業としても新たなスタートとして取り組む考えはないか。

答 この事業を進めることにより他の事業が縮小される。実施する考えはない。

●番場通りの整備と三峰駐車場整備および周辺活用

問 商店街は、電線地中化について市に要望している。インターロッキングにしたこの通りを電線地中化し、観光客や祭りの際、美観や景観を生かすために必要と思うが、商店街の要望を満たす計画があるか考えは。

答 電線地中化は観光や防災面で有効だが、地上機器の設置など幅員が狭くなる。また、財源確保など研究検討していきたい。



10月1日の三峰駐車場の様子

●障がい者（児）にやさしいまちづくり

問 障がい者（児）各施設の安全確保は。

答 相模原市の事件を教訓に、市として各施設と連携し、対応していく。

問 三峰駐車場整備および周辺活用について

答 駐車場整備のための調査費として予算を計上した。

一般質問

有害鳥獣捕獲後の 処理施設について

問 捕獲後のイノシシ、シカ肉の有効活用施設や焼却処分場の建設。

答 食肉処理場等の営業許可と人員、処理後の流通経路の開拓、建設用地の確保、および相当の建設費が必要であるため、すぐに建設する事は難しい。焼却処分施設も同様のため、処理施設として新火葬場の動物炉を活用してほしい。

問 新火葬場の動物炉手続き方法。

答 29年4月1日から動物炉の利用を開始する予定だが、具体的な利用手続き等については現在検討中であり、今後、運用について協議する。

問 動物炉が遠いため、一時保管冷蔵庫の支所への配備や、運搬費用の負担についての考えは。

答 捕獲した鳥獣の一時保管用大型冷蔵庫の各支所への配備や運搬費用については、具体的な受け入れ方法等の詳細が決まっていないため、今後、検討していく。

問 土日祝の動物炉の焼却対応は。

答 現時点では決まっていない。

● 火災の通知内容

問 「ちちぶ安心・安全メール」の通知内容がわかりづらいのでは。



清流クラブ 竹内 たけうち かつとし 勝利

答 安心・安全メールは、消防本部がシステムにより火災指令と同時に配信している。火元個人宅が特定されるような個人情報配信はできない。

● 家族で利用できる更衣室

問 ミュースパークプールに家族用更衣室の設置は。

答 既存設備や防犯などの問題もあるため、施設の指定管理者と協議しながら、来場者の安心・安全と利便性向上について研究していきたい。



有害鳥獣処理施設の動物炉（福井県若狭町）

災害時の障がい者 支援体制について

● 「聴覚障がい者等災害時援助用バンダナ」

問 外見から判断しづらい障がい者に対して、緊急時や災害時に効果的な支援体制は。

答 27年度、聴覚障がい者の方には「聴覚障がい者等災害時援助用バンダナ」を作成し、周囲に周知できるようにした。障がいにはいろいろな障がいがあるため、外見から判断しづらい方が、有事の際身に着けることで効果的な支援に繋がられるよう協議し、導入について検討する。

● 介護保険制度

問 65歳以上の介護保険料は。

答 被保険者数、要介護認定者数、介護サービス利用状況、施設の整備等により保険料は上がる方向になる。

問 第2号被保険者から第1号被保険者に移行するタイミングと保険料は。

答 65歳の誕生月の翌月に通知書を発行。4月から6月の誕生月の方は7月に通知書の発行となる。

問 元気な高齢者を増やす取り組みは。



清流クラブ 笠原 宏平

答 保健センターと地域包括支援センターが推進している「ちちぶお茶のみ体操」を推進している。

問 ちちぶ版CRC構想における影響。

答 当市の現在の要介護認定率は17・7%なので大きな影響はない。

● ファシリティマネジメン トの現状と方針

問 取り組み状況は。

答 未利用で老朽化した野坂貸付住宅・野坂二瀬住宅の解体を始めている。



聴覚障がい者等災害時援助用バンダナ

一般質問

合宿補助金について



公明党 おおくぼ すずむ
大久保 進

問 スポーツ合宿に対する補助金制度導入の考えは。

答 合宿補助制度は全国で導入を始めた自治体が増えてきているが秩父市で制度の導入を考えた場合、いくつかの条件をクリアしなければならぬ。施設の問題、宿泊施設の問題等が考えられる。制度の導入については諸問題を解消していくのが必要であり、引き続き研究していく。

被災者支援システムの導入は

問 災害に備え被災者支援システムの導入の考えは。

答 近年、日本各地では集中豪雨や台風による土砂災害をはじめ、様々な自然災害が発生している。秩父市では26年2月に発生した大雪災害では1412件のり災証明を発行した。また、4月に熊本地震に職員2名を派遣した。このようなか中で、被災者支援システムの早期導入を強く感じている。また、この被災者支援システムは、り災証明発行のほか、被災者支援台帳・避難所情報・緊急物資管理・仮設住宅管理、また、各種支援制度や



ポテくまくんの街頭演説

義援金の処理等、総合的な管理が可能になり、このようなことから、被災者の方々の支援に必要となる、被災者支援システムの導入を前向きに検討していく。

ゆるキャラグランプリ

問 ポテくまくんの順位が伸び悩んでいるがよい方策は。

答 担当課での投票促進活動には限界があるので、将来的にはPR活動に参加いただける組織「ポテくまくんファンクラブ」を立ち上げることを検討していきたい。

商店街の街路灯について



清流クラブ きむら たかひこ
木村 隆彦

問 商店街の街路灯の現状は。

答 商店街の街路灯については、24年度から26年度までに、国の商店街まちづくり事業等の補助金を活用して、番場町、みやのかわ、上野町、熊木町、本町の6商店街の383基の街路灯をLED化する事ができた。これにより、街路灯の老朽化が改善され、商店街運営を圧迫していた電氣代が、約2分の1程度になるなどの効果があり、現在では明るい商店街が形成されている。

問 街路灯の役割は。

答 街路灯は街を明るくし、商業の振興、活性化の面からも非常に有効である。また、防犯上の面からも大変重要な役割を果たし、全体的には刑法犯罪発生率も減少傾向にある。セーフコミュニティを推進している当市としては、LED化の成果があったものと感じる。

問 街路灯の電氣代補助について。

答 防犯的效果も出ていることや街中の賑わいが観光客に繋がることと、商店街の負担が大きいことを鑑み、財政局や関係部所と前向きに協議・検討する。

問 他地域の多くの自治体では街

路灯の修理や電球の交換、電氣代等を支援している。秩父市でも商店街の街路灯の電氣代の支援ができないか市長に伺う。

答 町会の負担を支援していないが、商店街の方へ出していない。その差をどのように考えるか、商店の場合には営利的なものもあるもので一応区分けはしなければならぬ。しかし、「秩父の夜は寂しい」とよく言われるので照らしていただいているのはありがたい。29年度の予算にどのように組めるのかしっかりと検討する。



みやのかわ街路灯

一般質問

合併検証なくして まちづくりなし

問 合併自治体の多くで、合併検証が行われている。「国にだまされた合併」との声がある中、特に周辺部の衰退が心配される。合併10年の節目に市民アンケートなどを実施し、合併の検証をしっかりと行なわなければ、今後のまちづくりは望めないと考えるが。

答 検証は必要だと思いが、合併後の10年を定めた第2次総合振興計画の説明会等で意見は集約できている。それらを総合して今後の10年をどうしていくかということに進みたい。

●「秩父市の教育」その課題と対策

問 全国学力テスト結果の学校別公表は、メリットよりも逆に過度の競争や学校の序列化というデメリットの方が大きいのでは。

答 公表したことによって、指摘されるような問題は無かった。

問 子どもの貧困が学力に及ぼす影響が指摘されている。学習支援の充実こそ重要と考えるが。

答 学力の問題には貧困も含めて様々な要素がある。データの分析をし、その結果を踏まえて総合的

に取り組む。

問 教室へのエアコン設置には、5年もの差が出る。学習環境の公平ということをどう考えるか。

答 財源の問題があり、過密クラスから計画的に設置している。

●ユニバーサルデザインのまちへ

問 一昨年の請願で出された改善要望それぞれの進み具合は。

答 障がい者トイレの充実を御花畑駅などで図る。バリアフリーマップは来年3月公開予定。



かなざき まさゆき
金崎 昌之



特別支援学校PTA・秩父手をつなぐ育成会から提出された、医療的ケアを必要とする障がい者施設拡充の要望書

し尿処理事業の広域化について

問 秩父市と横瀬町のし尿処理をしている清流園は、処理能力が日量80キロリットルだが、現在は下水道事業の整備によって一日あたりの処理量は約40キロリットル。し尿処理事業は国・県の方針として広域処理による経費削減、施設更新時の事業費圧縮を推奨している。秩父地域にはし尿処理施設が3施設あり、清流園は操業から37年が経過している。広域化を含め何らかの方向性を示す時期に来ていると思うが。

答 清流園は、昭和54年の施設稼働から37年が経過し、老朽化が進行している。このため将来の施設更新計画の策定について、方針を定めるための資料収集、基本構想の準備、秩父郡内での広域処理について検討する必要がある。広域処理については、21年度から秩父圏域のし尿処理施設管理担当者による協議会を作り、総合計画案の策定に向け協議を始めた。その後、このし尿処理統合を定住自立圏事業に組み入れることも模索したが、施設の経過年数、老朽化の度合いの違い等により将来計画の温度差が表面化し、意見集約が



荒川上田野にあるし尿処理施設「清流園」

停滞してしまった。現在、協議会は継続しているが、経費の節減方策や情報交換等を行うにとどまっている。今後、し尿処理施設の更新及び長寿命化のための大規模改修等の事業を行うには、さまざまな角度からの検討が必要と考えられる。広域化の検討を引き続き行っていくとともに、市独自にも国の交付金対象事業認可や現状を把握するため専門業者による調査を行うなど、最良の方策を早急に検討していきたい。



あらはら くにあき
清流クラブ 荒船 功

一般質問

市と神社仏閣との関わりについて



清流クラブ
赤岩 秀文
あかいわ ひでみ

問 政教分離に対する市の立ち位置について、当市には、多くの神社仏閣があるが、近年氏子や檀家の高齢化や減少が顕著になり、将来的に運営が厳しくなるのではないかと心配する声が聞こえる、市として神社仏閣に対して周辺整備など何らかの協力をしているか。

答 観光振興の観点から、札所の誘導用案内板の設置、札所境内には札所の解説板の設置や修繕、観光トイレの新設改修を行っている。

問 市として神社仏閣に協力する場合、政教分離に配慮した明確な線引きはあるか。

答 憲法第89条では、国または地方公共団体が宗教上の組織もしくは団体に財政援助を与える事を禁止しているが、神社仏閣の施設が観光資源や文化財である場合は、個々の事例を法に照らし適正に判断し協力していく。

●観光資源としての神社仏閣の関わり方について

問 一昨年、多くの参拝客で賑わった札所の午年総開帳が終わったが、次の午年総開帳に向けての周辺整備についての計画は。



川瀬祭

●伝統文化継承としての祭のあり方について

問 川瀬祭に参加する子どもが減少している現状を市はどのように把握しているか。

答 川瀬祭に参加している子どもは全体で約400人そのうち半数の約200人が祭町会外の参加である。

秩父夜祭宵宮の賑わいづくりについて



清流クラブ
清野 和彦
きよの かずひこ

問 12月2日夜祭宵宮の秩父神社周辺での賑わいづくりの考えは。

答 今年の夜祭ではかつて大きな絹の市が立ち賑わいを魅せていた歴史から番場町内の「黒門通り」「買継商通り」を会場とした「秩父夜祭絹市」を計画している。絹関連商品等の展示・販売、秩父の食材を活用した飲食の販売、秩父銘仙のトークショーや織物業界の歴史を織り交ぜながら秩父神社や諏訪神社など観光資源を活用した宵宮案内ガイドを実施。3日の例大祭でも開催する計画である。

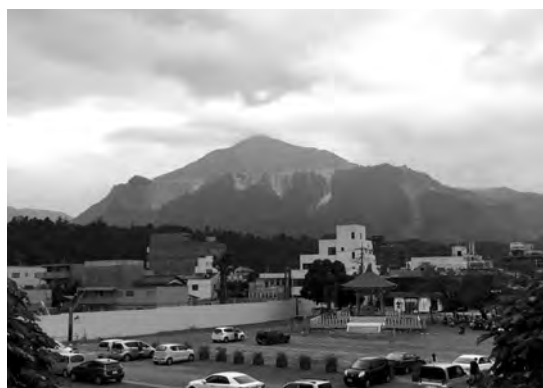
●西武秩父駅・御花畑駅周辺の環境整備について

問 27年9月議会で御花畑駅横の駐輪場について、まちあるき観光の観点から改善すべきと指摘したが検討や改善はあったか。

答 札所十三番東側、幹線51号線交差点の道路拡幅用地を臨時的に駐輪場とした。

●武甲山について

問 市内各所から見える採掘場の構造物は何か。またこの構造物は一時的なものか、永続的なものか。



秩父のわたしたちの原風景・武甲山

答 横瀬町地内の菱光石灰工業(株)宇根鉱山の碎石場にあり採掘終了後の斜面の災害を防止するために石灰石を積み上げる盛土工事を実施していると報告を受けている。現在は標高930mの地点から985m地点に横幅約250m奥行30mの盛り土となっており、半永久的に残るものと伺っている。

◎希少植物「ミヤマスカシユリ」自生地発見についての市の認識
◎移住・定住促進、戦略的なシティプロモーションの実施

一般質問

森林の利活用、 林業振興について

問 東京五輪開催における新国立競技場建設に向け、秩父産木材を使用してもらうための条件は。

答 前提条件として、森林認証取得が必須であり、認証取得に向け、鋭意取り組んでいる最中である。

問 県下でも有名な美林。栃本市有林等を活かした林業振興策は。

答 秩父地域の林業振興における突破口とすべく、「栃本市有林2百年生の森づくり事業」に取り組んでいく。

問 災害時木造仮設住宅用木材の供給協定締結についての考えは。

答 全国でも初の試みであり、協定締結に向け、県や全国木造建設事業協会等と情報交換していく。

● 共助による地域防災力強化

問 各町会単位で設置されている自主防災組織の役割と機能とは。

答 自分たちの地域は自分たちで守るという「共助」の理念に基づき、災害被害の軽減、拡大の防止等、さまざまな防災活動を行っていただく。

問 自主防災組織へ市の支援策は。

答 リーダー養成講座や災害ボランティア講座の開催。地区防災計画

清流クラブ

黒澤

秀之



くろさわ

ひでゆき

画の策定等、自主防災組織のあらゆる活動に対し支援をしていく。

● 登録民家増加策(民泊事業)

問 受入れ民家登録数が思うように増加しない現状において、体験プログラム等の充実と受入れ民家負担軽減策をどのように考えるか。

答 現在約220件の登録民家があるが、学校を受入れるたびに不足し苦戦している。今後は広報の方法、体験プログラム支援策を充実させ、積極的に推進していく。

阪神淡路大震災における救助の主体と救助者数



大規模自然災害時は「自助・共助」が重要

◎ 防災井戸、一時集合場所設置

● 市議会を傍聴してみませんか ●

12月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日 程	議 事
11月29日(火)	開会、議案説明
12月5日(月)	議案に対する質疑
6日(火)、7日(水)、 8日(木)	一般質問
9日(金)	委員会
14日(水)	委員長報告、採決、閉会

※ 議場は、吉田総合支所の3階です。

※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、傍聴の際は、議会事務局へお問い合わせください。



新井進さん提供

9月定例会の盆栽
9月定例会に盆栽を提供していただいた方は、新井進さん(下吉田井上町会)です。

ありがとう
ございました

編集後記

朝晩も大変涼しくなり、すっかり秋の気配が深まってきました。9月定例会が終わると秩父地方も各地で多種多様なお祭りの時期になります。龍勢祭り、新そばまつり、紅葉祭、そして秩父夜祭となります。また、地域での運動会が開催され、各地で公民館の文化祭が開催されます。一日の寒暖の差が大きい時期となりました。体調管理を十分にして、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋を存分に楽しんで過ごしたいですね。

話は変わりますが、10月1日から新火葬場が一部操業を始めました。建物は秩父の里山景観に調和したデザインで秩父産木材をふんだんに使用したとても素晴らしい建物です。季節の変わり目ご自愛ください。

平成28年10月 大久保 進 記

編集委員

委員長
副委員長
委員

木村 隆彦
大久保 進彦
江田 治雄
清野 和彦
赤岩 秀文
高出 章宏
野浦 恵